平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画入門(Introduction to Social Participation)			授業コード	A029442
担当教員名	吉本　圭一郎			科目ナンバリングコード	A10201
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	全学部　必修(2012年度以降入学生) 経営経済学部　必修(2011年度以前入学生)	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	人間力の育成、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。				
受講心得	大学生活の心構え、学修スキルの修得、将来の目標を考えるキッカケとなる企業見学など、大学生活をどのように過ごすのかや将来を考え、人間力を育成する大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で頑張って下さい。				
教科書	知へのステップ　第3版－大学生からのスタディ･スキルズ－ (くろしお出版)学習技術研究会　編著				
参考文献及び指定図書					
関連科目	社会参画実習1、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目				

授業の目的	ひとりの大人としての自立に向けた第一歩として、自律した学修技術、人間関係形成能力の育成を目的とします。大学生になっても職業意識が未熟で、適職を見つけられない若者、また人間関係の形成が不十分で組織の中での自分の役割やチームワークの重要性の認識が不十分な若者が増えている背景があります。本授業を通じて、まず高校と大学の違いや、大学生に求められる能力を認識し、学修スキルを修得します。さらに、社会の現実とその関わり方や理想の将来像を確立するため、企業取材やクラス内でのコミュニケーションを通じて、知識・思考力・働く意欲・思いやりなどを身につけます。
授業の概要	・大学の講義を受けるための学修技術(アカデミックスキル)を学びます。具体的には、ノートの取り方、テキストの読み方、レポートの書き方、図書館の活用方法等を修得します。 ・企業取材を実施します。事前・事後学修を含めて企業や社会に対する理解を深め、企業の実態を知り、働くイメージを身につけます。 ・クラス内でのコミュニケーションを取り、クラスメイトや担任教員との人間関係を構築します。 【キーワード】 人間力、大学と高校の違い、時間管理、交流、学修スキル、講義の聴き方、ノートのまとめ方、読解力、レポートの書き方、図書館、企業、就業力

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： スタートアップセミナー	
第 2 週 ： 履修指導(履修科目の確定) ■履修指導　■その他の指導	
第 3 週 ： 湯布院研修の成果発表会【経営経済学部】／ノート・テイキング【工学部】 ■湯布院研修のプロジェクト成果発表(全チーム)／■講義ノートの取り方	成果発表資料の準備・発表練習 ／教科書第2章の予習・復習 ワークシート
第 4 週 ： ノート・テイキング【経営経済学部】／湯布院研修の成果発表会【工学部】 ■講義ノートの取り方／■湯布院研修のプロジェクト成果発表(全チーム)	教科書第2章の予習・復習 ワークシート ／成果発表資料の準備・発表練習
第 5 週 ： 湯布院研修の最終成果発表会【全体】 ■第3／4週学科成果発表会で選出された代表チームによる最終成果発表	
第 6 週 ： リーディングの基本スキル ■テキストの読み方	教科書第3章の予習・復習 ワークシート

第 7 週 ： 大学図書館における情報収集　注1） ■図書館の利用の仕方　■図書館の資料・文献を用いた情報収集	教科書第5章の予習・復習 配付資料・ワークシート
第 8 週 ： より深いリーディングのために　注1） ■効果的にテキストを読もう　■図書館出借りた本の一部分を要約	教科書第4章の予習・復習 ワークシート
第 9 週 ： 企業活動取材のための事前学修　注2） ■訪問企業についての事前調査・情報共有　■働く意義を考える	企業情報の調査 ワークシート
第10週 ： 企業活動取材　注2） ■企業取材	ワークシート
第11週 ： 企業活動取材振り返り　注2） ■企業取材に基づく振り返り　■企業の役割や働く意義の理解	ワークシート
第12週 ： アカデミック・ライティングの基本スキル（1） ■レポートとは　■レポート作成の手順	教科書第8章の予習・復習 ワークシート
第13週 ： アカデミック・ライティングの基本スキル（2） ■論文作法	教科書第8章の予習・復習 ワークシート
第14週 ： 出身校へのレター作成（自己表現）／面談／振り返り（1） ■自己表現をしよう　■個別面談	教科書第11章の予習・復習 レター作成
第15週 ： 面談／振り返り（2） ■個別面談	
第16週 ： 期末試験【学科】	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	「知へのステップ」は第3週講義までにブックセンターで必ず購入して下さい。 注1）「大学図書館における情報収集」／「より深いリーディングのために」はクラスによって実施回が異なります(第7週～第13週のいずれか)。第7・8週の内容はセットで実施します。 注2）「企業活動取材のための事前学修」／「企業活動取材」／「企業活動取材振り返り」はクラスによって実施回が異なります(第6週～第14週のいずれか)。第9～11週の内容はセットで実施します。 注3）担当教員によって、講義の進度・順序・内容が異なることがあります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①時間管理：ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる。 ②就業意欲：企業取材に積極的に参加し、就業意欲を明示できる。
【知識・理解】	①学修スキル：教科書の内容を手助けを借りながら理解できる。 ②図書館：図書館の利用の仕方がわかる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①交流：教員の働きかけにほぼ的確に応えることができる。 ②学修スキル：講義ノートを作成することができる。基本的な形式でのレポートを作成することができる。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	30点			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	ワークシート、企業取材シート（事前・事後を含む）の書き込み状況を評価の対象とします。 [Sレベル] ・自分の力で講義ノートを適切にまとめることができる。 ・適切なレポートを作成することができる。 ・企業取材に積極的に参加し、就業意欲を明示できる。
発表・その他（無形成果）	授業に欠席したり、遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。また、クラス内での交流に積極的に取り組んだ場合も評価の対象とします。 [Sレベル] ・無遅刻、無欠席で授業に参加できる。 ・年間目標に沿って行動ができる。 ・積極的に教員、クラス内の学生、取材企業の関係者とコミュニケーションが取れる。